

■ 子どもにやさしいまちづくりに関する取組について

<事業開始の経緯>

- すべての子どもが今を幸せに生き、夢と希望をもって成長することができるまちを目指す。
- 日本国憲法と児童の権利に関する条約の理念に基づき、子どもが権利の主体として尊重されることをすべての取組みの基礎とする。
- 子どもの意見に耳を傾け、子どもの最善の利益を第一に考慮する。
- 子どもにやさしいまちづくりを進めること。

<事業内容>

○奈良市子ども会議の設置

奈良市子ども会議は、子どもにやさしいまちづくりについて子どもたちみんなで話し合い、自由に自分の意見を言える場所である。ファシリテーター(進行役)の司会のもとに子どもにやさしいまちづくりに関することについて、様々な視点から話し合う。

奈良市子ども会議の参加者は子どもだけなので、普段なかなか言えないことや思っていることを話し合ったり、他の人の意見を聴いたりできる。また、子どもたちが安心して楽しく話し合えるように、大学生のお兄さんやお姉さんがサポートする。

○子ども会議を5回開催する

テーマについてグループで話し合い「意見書」を作成する。

<その他の取組み内容>

○子どもの権利に関するアンケート調査をおこなう 対象は市内在住の6歳から18歳の子どもの調査内容は、子どもの権利・こども基本法・子どもにやさしいまちづくり条例などの認知度調査を実施

○キャラクターPR活動 奈良市の子育て応援キャラクター「ももいろいろジーカ」奈良市で子育てにがんばるパパとママを応援するキャラクターを認知してもらう。

○子育て応援サイト「子育て@なら」子育て情報 SNS を発信する

○なら子育て情報ブックの配布

奈良市の子育て支援情報をまとめた「なら子育て情報ブック」を毎年発行
母子健康手帳配布時や各窓口で配布してもらう

○ユニセフ CFCI について

子どもにやさしいまちづくり、子どもの権利を実現することに市町村が積極的に取り組むユニセフが提唱する世界的な活動に取り組む

【今後の課題】

- 子ども会議のテーマを限りなく広げていく
- 毎回同じ参加者にならないように、子ども会議の参加者は初めての人に多く参加してもらう。
- 意見報告会や提案の実現まで、市長・教育長・関係部署との関係性を担保し、子どもたちの意見を共有して、限りなく提案の実現に努めていきたい。